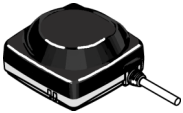


PDC-812iR

(PDC-812-50x-U3)

通信ユニット取扱説明書



この度は、PDC-812iR をお買い上げいただきありがとうございます。本書は、通信ユニット (PDC-812-50x-U3 以下、本機と称する) の取扱説明書です。ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、正しくお使いください。また、お読みになられた後は、大切に保管願います。

■表記上のお約束

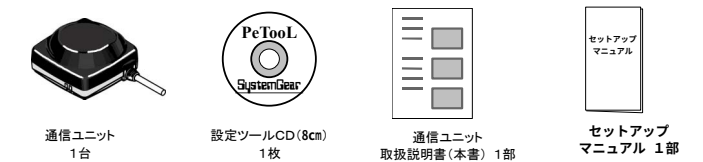
注意 本機を使用する際に注意していただきたいことを説明しています。

メモ 本機を使用する際の補足的なことを説明しています。

特長

- PDC-812iR は、スキャナ (PDC-812-x00-00) で読取ったバーコードを赤外線通信にて本機で受信し、ホスト機器にキーボードインターフェースで送信する装置です。
- ケーブルのないスキャナ
操作性・機能性に優れ、つまずきによる故障・断線の心配も無用
 - 赤外線による通信
無線を導入している環境にも影響されない当社独自の赤外線プロトコル通信 (BFD-1™)
- メモ** スキャナについては、「スキャナ取扱説明書」をご覧ください。

梱包内容の確認



メモ 設定ツールCDにシールが含まれていることがありますが、本機では使用しません。

安全上のご注意

- ご使用になる人やその他の人への危害や財産への損害をあらかじめ防止するため、本製品のご使用前に必ず本内容をよくお読みになり、お守りいただくようお願いいたします。お読みになった後はいつでも見られるところに保管してください。
- 本書の記載内容を守らない使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で説明しています。
- | | | |
|---|-----------|--|
|  | 警告 | この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 |
|  | 注意 | この表示の欄は「損害を負う可能性または、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。 |

■お守りいただく内容の理解を次の線区分で説明しています。		
表示	内 容	
	この記号は、してはいけない「禁止」の内容です。	
	この記号は、「分解」を禁じる内容です。	
	この記号は、「覗き込むこと」を禁じる内容です。	
	一般的な機器の取扱いで何らかの注意が必要で、人に何らかの危害または、機器に何らかの障害が起こる可能性があることを促す警告表示です。	
	故障により、人に何等かの危害または、機器に何等かの障害が起こる可能性がある場合、接続ケーブルをホスト機器から抜くことを促すための警告表示です。	

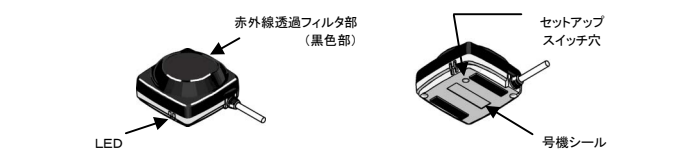
⚠警告	
表示	内 容
	煙が出ている、変なにおいや音があるなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本機接続ケーブルをホスト機器から抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理をご依頼ください。
	万一、機器の内部に水などが入った場合は、まず本機接続ケーブルをホスト機器から抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	万一、機器を落とした場合や、機器のケースを破損した場合は、本機接続ケーブルをホスト機器から抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	ケーブルが傷んだら (芯線の露出、断線など) 販売店に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
	ケーブルの上に重いものをせたりコードが機器の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
	ケーブルを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。ケーブルが破損して、火災・感電の原因となります。

⚠注意	
表示	内 容
	油煙や湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	濡れた手でケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
	お手入れの際は、安全のためケーブルを抜いてから行ってください。感電の原因となることがあります。
	落下させたり、強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
	小児には使用させないでください。
	乳幼児の手の届かないところに保管してください。
	直射日光の当たるところや炎天下の車内、火のそば、ストーブの前面など高温の場所に放置しないでください。

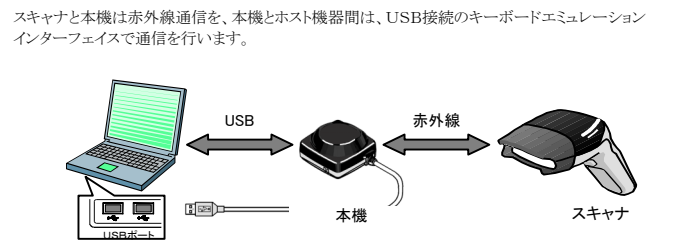
使用上のご注意

- 本機の性能を損なわずに正常に動作させるため、下記の事項に注意してください。
- 本機に過度のストレスを加えないでください。故障の原因になります。
 - 次のような場所には設置しないでください。誤動作や故障の原因になります。
 - ・直接日光の当たる場所
 - ・磁界や誘導ノイズが発生する場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・湿度の高い場所
 - ・水の近くや水のかかる場所
 - ・振動や衝撃がかかる場所
 - ・温度が極端に高い場所
 - ・温度が極端に低い場所
 - ・不安定な場所
- また、保管の際も上記の環境にご留意ください。
- 本機の黒色部は赤外線透過フィルタになっています。この部分にシール等を貼ったり、異物を付着させたり、手で覆ったりしないでください。赤外線光路が遮断されるとデータ通信性能が低下します。
 - 本機は絶対に分解しないでください。
 - 本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
 - 本機の動作中は、動作範囲内において赤外線を用いる他の装置 (テレビジョンのリモコン等) が動作不良となることがあります。
 - 本機は、設定データ保存用に不揮発性メモリを搭載しています。本機への設定を行っている最中に接続ホスト機器の電源 OFF やUSBケーブルの抜き差しは行わないでください。データが破壊され、誤動作を起こす可能性があります。
 - 本機を清掃する場合は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を薄めたものを少量含ませた柔らかい布で内部に水分が入らないように拭いてください。

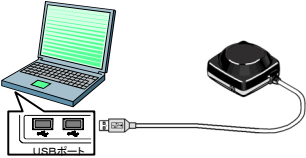
通信ユニットの外観



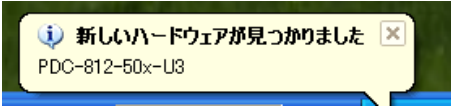
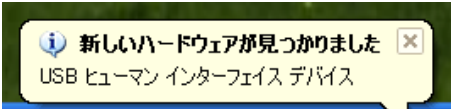
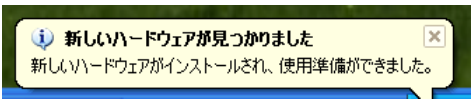
システム構成



接続 および ドライバインストール

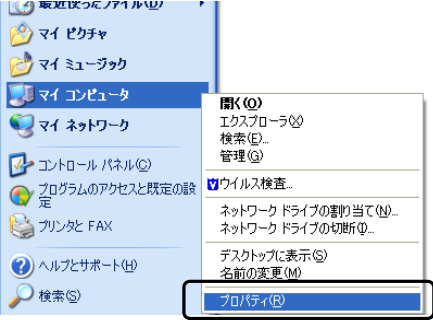
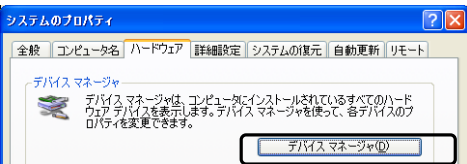
- 本機のUSBコネクタを、ホスト機器のUSBポートに接続して使用します。本機とホスト機器を初めて接続する場合は、USBドライバのインストールが自動的に実行されます。
- 
- 禁止** ホスト機器に複数の通信ユニットを接続しないでください。正常に通信できません。
 - 注意** 接続時には、静電気に気をつけてください。あらかじめ手を金属物に触れて静電気を放電してください。
 - 注意** 本機は、500mAの電力供給が保証されているUSBポートで使用可能です。
 - 注意** インストールを行う際、administrator (管理者権限を持った状態) でログオンしてください。

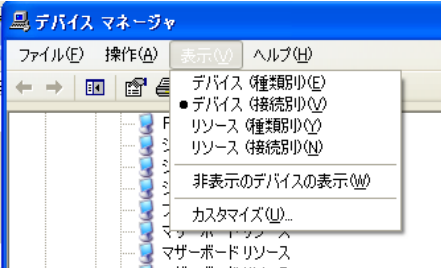
■パソコンのOSが WindowsXP の場合

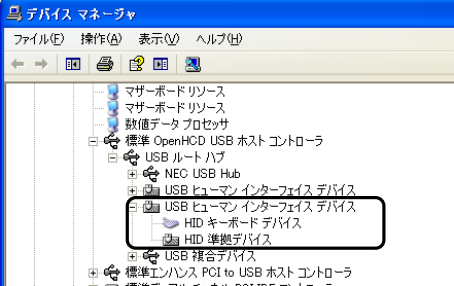
- パソコンのUSBポートに本機ケーブルをさします。
 - しばらく待ちます。
 - Windows が本機を認識し、デバイスドライバをインストールしました。
- パソコンと本機の接続が完了すると本機はブザーを約1秒鳴動後、緑色にLEDを点灯します。

■デバイスドライバインストールの確認

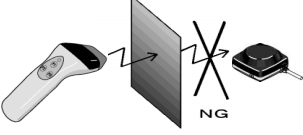
Windows が正しく本機を認識しているかをデバイスマネージャで確認できます。

- マイコンピュータのプロパティを選択します。
- デバイスマネージャボタンを押します。

- 表示メニューから「デバイス (接続別) (V)」を選択します。

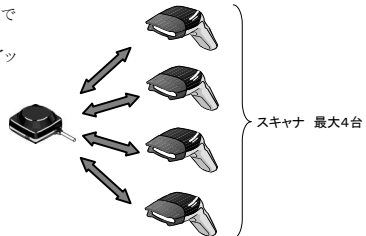
- 右図のように3行の項目があれば正しく認識されています。

通信ユニットの設置場所

- 赤外線は直進する特性をもっていますので、本機とスキャナ間に遮蔽物がないように設置してください。
- 
- 注意** 赤外線透過フィルタを手やシールなどで覆わないでください。データ通信ができなくなります。
 - 注意** 太陽光は、赤外線を含む光が非常に強いため赤外線通信の妨げとなります。直射日光の当たる場所には設置しないでください。

複数台のご使用

■スキャナ複数台使用

- 1台の通信ユニットに対して、スキャナ4台まで使用可能です。複数台で使用される場合は、スキャナのセットアップが必要です。「セットアップマニュアル」を参照してください。
- 

■通信ユニット複数台使用

- 同一空間で96台までの通信ユニットが使用可能です。複数台で使用される場合は、セットアップにて「通信ID設定」を変更する必要があります。
- 
- メモ** 同一空間で、スキャナ最大384台 (スキャナ4台 × 通信ユニット96台) の使用が可能です。
 - メモ** セットアップ方法は、本書の項目「セットアップ」を参照してください。

セットアップ

「セットアップマニュアル」や「PeTooL」を使用して様々な設定を行うことが可能です。

■セットアップマニュアル

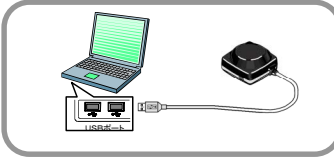
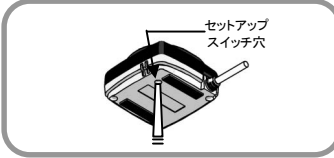
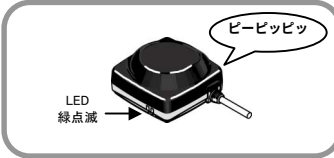
スキャナで「セットアップマニュアル」のバーコードを読み取り、バーコードメニュー形式でセットアップを行います。詳細は、セットアップマニュアルを参照してください。

■PeTooL

「PeTooL」は設定アプリケーションです。パソコン上で編集したセットアップデータを書込んだり、本機の設定を読み出して表示することが可能です。スキャナのセットアップを行うことはできません。

■セットアップモード

セットアップを行うためには、本機をセットアップモードにします。セットアップマニュアル (オプション) のセットアップ開始バーコードをスキャナで読取るか、以下の手順にてセットアップモードにしてください。

- ①本機のUSBケーブルをホスト機器に接続します。
- ②本機底面のセットアップスイッチ穴を「先の尖ったもの (ボールペン等)」を押す、もしくは、セットアップマニュアルの「通信ユニットセットアップ開始」バーコードをスキャナで読取ります。
- ③「ピーピーピッ」とブザーが鳴動し、本機のLEDが緑点滅することを確認します。

メモ スキャナのセットアップは「セットアップマニュアル」を参照してください。

PeTooL

PeTooLはパソコン上で編集したセットアップデータの書き込み、及び本機の設定を読み出して表示することが可能です。PeTooLに付属のヘルプも合わせて参照してください。

■特長

- 接続機器の型式、バージョンを自動で取得できます。
- 設定データのファイル保存、読出し、編集
- 設定内容を一覧表示し、現在の設定状況が一目でわかります。

■インストール

- ①ご使用になるパソコンの電源を入れて Windows を起動します。
 - ②設定ツールCD『PeTooL』をCD-ROMドライブに入れてください。
 - ③自動的にインストールを開始します (開始しない場合『Setup.exe』を起動してください)。
 - ④画面に表示される手順に従い、インストールを完了してください。
- 注意** インストールを行う際、administrator (管理者権限を持った状態) でログオンしてください。
 - 注意** PeTooLのインストールフォルダのファイル構成や、内容を変更しないでください。アプリケーションが正常に動作しなくなることがあります。フォルダやファイル構成が破損した場合や、間違えて削除した場合は、アンインストールした後、再度インストールしてください。

■アンインストール

- ①[コントロールパネル]→「アプリケーション (プログラム) の追加と削除」を実行します。
- ②一覧から「PeTooL」を選択して[変更と削除]実行してください。
- ③アンインストールプログラムに従い、アンインストールを完了してください。

メモ ファイルやフォルダが一部残る場合があります。お手数ですが手動で削除を行ってください。

起動とセットアップ

■設定を跳出す

- ①PeTooLをスタートメニューより起動します。
- ②本機をセットアップモードにします。
- ③セットアップ画面の[設定跳出し]ボタンを押します。“デバイスから設定を跳出しますか？”とメッセージが表示されるので、[はい]を押します。
- ④跳出し結果を示すメッセージが表示されます。
- ⑤設定の跳出しが正常に終了すると、設定内容表示一覧に跳込んだデータが表示されます。

- 

設定内容一覧には、デフォルトと異なる項目のみ表示されます。本機デフォルト状態で設定跳出しを行った場合、設定内容一覧には何も表示されません。

■設定を書込む

- ①PeTooLをスタートメニューより起動します。
- ②本機をセットアップモードにします。
- ③セットアップ画面の[設定書込み]ボタンを押します。“デバイスに設定を書込みますか？”とメッセージが表示されるので、[はい]を押します。
- ④書込み結果を表すメッセージが表示されます。
- ⑤本機は、“ビップビップビー”とブザー鳴動して、セットアップモードを自動終了します。

■ファイルを保存する

「名前を付けて保存」

- ①セットアップ画面で[ファイル]メニューの[名前を付けて保存]を押します。
- ②[名前を付けて保存]ダイアログ画面で、保存するフォルダとファイル名を入力します。
- ③[保存]ボタンを押します。

「上書き保存」

- ①セットアップ画面で[ファイル]メニューの[上書き保存]を押します。

■ファイルを開く

- ①セットアップ画面で[ファイル]メニューの[開く]を押します。
- ②[ファイルを開く]ダイアログ画面で、フォルダとファイル名を入力します。
- ③[開く]ボタンを押します。
- ④[設定内容一覧]にファイルから跳込んだ設定データが表示されます。

■デフォルトに戻す

「全てデフォルトに戻す」

- ①セットアップ画面の[全デフォルト]ボタンを押します。
- ②「現在の設定をすべてデフォルトに戻しますか？」とメッセージが表示されます。
- ③[はい]ボタンを押すと、設定がすべてデフォルトになります。

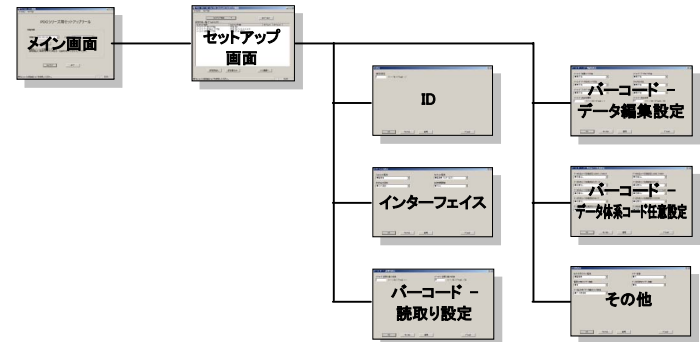
「設定項目毎にデフォルトに戻す」

- ①各設定画面の[デフォルト]ボタンを押します。
- ②「この画面の設定をデフォルトに戻しますか？」とメッセージが表示されます。
- ③[はい]ボタンを押すと、画面に表示されている設定がデフォルトになります。

- 

「設定書込み」を行わないと、本機には反映されません。

画面構成



メイン画面

PeTooL 設定画面 ファイル名: 不明 機種情報 型 式 PDC-812-50x-U3 バージョン V10 ① ② ③ ④ 自動取得 終了 機種に設定されたデータはすべて初期値で初期化されます。	
①型式／バージョン	セットアップを行う機器の、型式とバージョンを選択します。
②自動取得	本機を接続した状態で「自動取得」ボタンを押すと、自動で機型式／バージョンを判別し、①の「型式／バージョン」コンボボックスに表示します。
③セットアップ	セットアップ画面を表示します。
④終了	PeTooLを終了します。

セットアップ画面

PDC-812-50x-U3 Ver110 [default] セットアップ ファイル名: 不明 セットアップ項目 全デフォルト 設定項目一覧(デフォルト以外) 設定項目名 設定項目内容 コメント バーコード(読取り用)追加 付加 00 付加 004-0010 バーコード(読取り用)追加 付加 00 付加 004-0010
--

①

②

③

④

⑤

⑥

設定跳出し

設定書込み

メイン画面へ

機種に設定されたデータはすべて初期値で初期化されます。

ID 通信ID 1 (1～96) デフォルト: 1 ① OK キャンセル 適用 デフォルト	
①通信ID	スキャナとの赤外線通信に使用する通信IDを設定します。複数台の通信ユニットを使用される場合は、重複しないように通信IDを設定してください。

インターフェイス

インターフェイス CapsLock監視 監視有 NumLock監視 監視有 (0.4～出力) カタカナ出力 カタカナ ① ② ③ ④ OK キャンセル 適用 デフォルト	
①CapsLock監視	Caps Lock状態の監視 あり／なし を設定することで、英字を正常に出力します。
②NumLock監視	Num Lock状態の監視 あり／なし を設定することで、数字を正常に出力します。
③カタカナ出力	カナ出力モードの切り替え方法を設定することで、カタカナを正常に出力します。
④伝送時間調整	データを送出するときの各文字間に10段階の伝送時間の調整が可能です。

バーコード - 読取り設定

バーコード - 読取り設定 バーコード(読取り)最小桁数 1 (1～50) デフォルト: 1 バーコード(読取り)最大桁数 50 (1～50) デフォルト: 50 ① ② OK キャンセル 適用 デフォルト	
①読取り最小桁数設定	設定値より少ない桁数のバーコードはホスト機器に送信されません。
②読取り最大桁数設定	設定値より多い桁数のバーコードはホスト機器に送信されません。

バーコード - データ編集設定

バーコード - データ編集設定 バーコード(先頭コード)追加 ●実行有 バーコード(データ体系コード)追加 ●実行有 バーコード(スキャナ情報)追加 ●実行有 バーコード(送出先頭桁) 1 (1～50) デフォルト: 1 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ OK キャンセル 適用 デフォルト	
バーコード(データ体系コード)追加 ●実行有 バーコード(読取りコード)追加 ●実行有 バーコード(送出桁数) 50 (1～50) デフォルト: 50 ⑧	
ホスト機器への送信データフォーマット ① ② ③ ④ ⑤ バーコードデータ ⑥ ※数字は下記の通り設定可能	
①先頭コード付加	読取ったバーコードデータの先頭に任意のコードを付加して送信します。
②データタイプ付加	読取ったバーコードデータにバーコードデータタイプ「B」を付加する設定です。
③データ体系コード付加	読取ったバーコード種別毎に、データ体系コードを付加する設定です。
④スキャナID付加	バーコードデータに、読取ったスキャナのIDを付加する設定です。
⑤入力データ桁数付加	読取ったバーコードデータに、データ桁数を付加してホスト機器に送信する設定です。
⑥後頭コード付加	読取ったバーコードデータの後ろに任意のコードを付加して送信します。
⑦送出先頭桁	読取ったバーコードの何桁目からホスト機器に送信するか設定できます。
⑧送出桁数	読取ったバーコードを何桁ホスト機器に送信するか設定できます。本設定桁数よりも読取った桁数が少ない場合は、読取った桁数分ホスト機器に送信します。

バーコード - データ体系コード任意設定

バーコード - データ体系コード任意設定 バーコード(データ体系コード)任意設定(JAN-13) ●実行有 バーコード(データ体系コード)任意設定(UPO-A) ●実行有 バーコード(データ体系コード)任意設定(カスタム7桁256) ●実行有 バーコード(データ体系コード)任意設定(CODABARINW-7) ●実行有 バーコード(データ体系コード)任意設定(CODE128) ●実行有 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ OK キャンセル 適用 デフォルト	
バーコード(データ体系コード)任意設定(JAN-8) ●実行有 バーコード(データ体系コード)任意設定(UPO-E) ●実行有 バーコード(データ体系コード)任意設定(カスタム7桁256) ●実行有 バーコード(データ体系コード)任意設定(CODE39) ●実行有 バーコード(データ体系コード)任意設定(EAN-128) ●実行有 ⑩	
⑩注意 本設定は、「データ体系コード付加」設定にて、「任意」を設定した場合のみ有効となります。	
①～⑩データ体系コード任意設定	バーコード毎に、任意のデータ体系コード設定が行えます。

その他

その他 出力文字の大小監視 ●監視有 電源ON時のブザー鳴動 ●有 データ出力時のブザー鳴動 ●有 ① ② ③ ④ ⑤ OK キャンセル 適用 デフォルト	
①出力文字の大小監視	読取ったデータを監視し、画面上に出力する英字を大文字のみ、または小文字のみに変換出力することができます。
②ブザー音量	ブザーの音量を3段階で設定できます。
③電源ON時のブザー鳴動	電源ON時にブザーを鳴動、有／無 を設定できます。
④データ出力時のブザー鳴動	データ出力時にブザーを鳴動、有／無 を設定できます。
⑤データ出力時ブザー鳴動タイミング	データ出力時に鳴動させるブザーのタイミングを設定できます。

LEDとブザーの動作

LEDとブザーによって本機の状況を知ることができます。

電源状況	動作状況	LED	ブザー	備考
POWER OFF	電源オフ	消灯	なし	
POWER ON	USB接続処理中	赤緑両点滅	なし	
	USB接続完了	緑点灯	ビー	
	待機中	緑点灯	なし	
	バーコードデータ受信・処理中	赤緑両点灯	なし	
	データ送信完了	緑点灯	なし	
セットアップ仕様	データ送信エラー	赤点灯	なし	
	セットアップ開始	赤緑両点灯	ビービッピ	
	セットアップ中	緑点滅	なし	
	セットアップバーコード読取り	緑点滅	ビッ	
	オプションコード読取り	緑点滅	ビッ	
POWER ON	エラーバーコード読取り	赤緑両点滅	ビッビッピ	
	セットアップ終了	赤緑両点灯	ビッビッビッピー	
	赤外線異常※1	赤緑両点滅	なし	
POWER ON	装置異常※2	赤緑交互点滅	ビッビッピ……	LED・ブザー共約 500ms間隔

- 

※1 赤外線異常になった場合、太陽光及び他機器の赤外線通信等、外部からの妨害を受けていることが考えられます。
- 

※2 装置異常になった場合、修理が必要です。

仕様

通信方式	赤外線通信方式 波長 850nm～960nm
変調方式	FSK 変調方式(サブキャリア 1.3MHz 帯)
通信距離	見通し正面 最大 3m(室内)
ホスト機器接続インターフェイス	USBインターフェイス Ver1.1 キーボードエミュレーション
供給電源	ホスト機器のUSBポートより供給
動作環境	USBポートを持ち、ホスト機器本体のメーカーがUSBポートの動作保証をしている機種
対応OS	Windows XP、Windows Vista、Windows 7 (いずれも32ビット日本語版)
読取り確認	ブザー
動作状況表示	LED 2個 (赤・緑)
消費電流	最大 200mA (突入除く)
寸法	65(W)×65(D)×34(H)mm(突起物含まず)
重量	約 120g(ケーブル含む)
使用温度	5～40℃
使用湿度	20～85%(非結露)
保存温度	-5℃～50℃
保存湿度	20～85%(非結露)

お問い合わせ

日本システム開発株式会社 技術的なお問い合わせは 最新情報は support@nsd-inc.co.jp http://www.systemgear.com (サポートデスク) (弊社ホームページ)	
--	--

- 本紙記載製品の販売・生産・保守について、予告・通知なく中止する事があります。
詳しくは、右記ホームページをご覧ください。 <http://www.systemgear.co.jp/support/stop/index.html>
- 製品の仕様、規格及び外観は、改良の為、予告なく変更する事があります。
- 印刷の関係上、本取扱説明書に使用した写真及び画面は、色や細部等が実際と異なる場合がありますのでご了承ください。
- 保守対応期間は、弊社販売中止から基本5年間ですが、諸事情により異なる場合があります。
- 弊社の保守サービスを受けるには、ユーザー登録が必要です。
- ユーザー登録は、下記ホームページから登録してください。
https://www.systemgear.com/support/regist/web_form.html
- Windows は米国法人 Microsoft Corp.の登録商標です。
- その他本書に記載されている会社名、製品名は各社の登録商標です。

2010/06 第5版
(BK0035A03-5)

保証規定

この規定は、お客様が購入された弊社製品について、修理に関する保証の条件等を規定するものです。

1. この製品は当社の厳密な製品検査に合格したものです。
2. 取扱説明書に従って正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合はお買上げの販売店または、保証書に記載の送り先まで修理品と共にお送りください。無償修理させていただきます。
3. 保証範囲は本体および付属機器に限らせていただきます。
4. 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - (1) 保証書にご購入日の記載がない場合
 - (2) お客様による輸送または移動に際し、落下または衝撃等に起因して故障または破損した場合
 - (3) 火災、地震、落雷、風水害、その他天変地変、または、異常電圧などの外部的要因により、故障または破損した場合
 - (4) 本製品に異常がなく、他の機器に起因して本製品に故障が生じた場合
 - (5) 当社以外で修理、調整、改造され、それが原因となり故障した場合
 - (6) お客様側の希望により、ソフトウェア（ROM）をバージョンアップする場合
5. この規定は、日本国内においてのみ有効です。また、海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証もいたしません。

保証書

修理の場合は必ず、この保証書を添えてご依頼ください（本書をコピーしてお使いください）。

この製品は厳密な検査に合格してお届けしたものです。
お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、この保証書に記載された期間、条件のもとにおいて修理をいたします。

製 品 名	PDC-812-50x-U3	シリアル№	
本体裏側の号機シールに記載のシリアル№を転記してください。			
会 社 名			
お 名 前	フリガナ		
ご 住 所	〒		
	TEL：() ー		
保証期間	弊社出荷日より1年		
	ご購入日を記述してください。 年 月 日		
	ユーザー登録をして戴きましたら、ご購入日より1年とさせていただきます。		

送り先： 〒665-0045 宝塚市光明町 30-12 株式会社システムギアダイレクト 修理担当宛
TEL 0977-74-3575 FAX 0979-74-2212

SystemGear **日本システム開発株式会社**
Always the next news